

比岐與毛岐亦非也。按嘉祐本草云鼠麴草雜米粉作糗食之甜美。生平岡熟地。高尺餘。葉有白毛。黃花。荆楚歲時記云。三月三日取鼠麴汁。蜜和爲粉。謂之龍舌料。以壓時氣。江西人呼爲鼠耳草。李時珍曰。原野甚多。二月生苗。莖葉柔軟。葉長寸許。白茸如鼠耳之毛。開小黃花成穗。結細子。楚人呼爲米麴。北人呼爲茸母。故邵桂子甕天語云。北方寒食菜。茸母草和粉食。是可以充波々古。今俗譌呼保宇古。久佐猶柞櫟和名波々古。俗譌呼保宇會也。周防謂之毛知久佐。是草和粉爲餌。故有是名。讚岐謂之加宇知波奈。與楚人呼米麴合。是草折葉則有白絲。曳之如杜仲。故又有比岐與毛岐之名。

〔古名錄〕波波古

按ニ倭名抄ニ菴蘆子和名波々古。馬先蒿和名比岐與毛木ト分ツレド。本草和名本草類編ニモ。菴藺子和比支與毛支。又波波己ト云ヲ以テ。比木與毛支波々古。一物タルコト明也。

〔康賴本草〕菴藺子 味苦微寒温。无毒。和ヒキヨモキ亦ハワコ。又波々己。十月採實陰乾。

〔醫心方〕菴蘆子和名比岐與毛岐一名波々古

〔類聚名義抄〕菴蘆子ヒキヨモキ 〔同八〕蘆子ハ、コ

〔易林本節用集〕菴蘆子ハ、コ

〔和爾雅〕菴蘆七種菜 鼠麴草佛耳草一名黃蒿和名母子艸

〔和爾雅〕菴蘆七種菜 鼠麴草佛耳草一名黃蒿和名母子艸

〔東雅〕菴蘆子ハ、コ 倭名鈔に本草を引て菴蘆子はハ、コと註せり。文德實錄に見えし母子草といふものは一名にして二物也。母子草は鼠麴草。また鼠耳子などともいひ。古の時には三月三日に餅となせしものなり。○註 また白蒿をも。今俗にカハラハ、コグサと云ふなり。ハ、コといふ義不詳。

〔倭訓栞〕中編二十は、こ 文德實錄に母子草と見えたり。鼠麴草なり。今はふこといふ是なり。和

〔倭訓栞〕中編二十は、こ 文德實錄に母子草と見えたり。鼠麴草なり。今はふこといふ是なり。和